

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価			
データ 分析 表	データ表		
	内容	項目数	平均
	「乳児保育」	15	4.47
	「3歳未満児保育」	31	3.77
	「3歳以上児保育」	53	4.09
	「教育保育の配慮事項」	16	4.44
	「健康・安全」	29	4.00
	「子育ての支援」	18	4.22
	「職員の資質向上」	9	4.44
	計	171	4.12
データグラフ			
総合 評価	養護、人権の重要性を理解したうえで、一人一人の子どもの尊厳を守る対応について、職員間で検証し、話し合いを持ち、振り返りを実施してきた。継続して取り組み、保育の質の向上に繋げていきたい。主体的、対話的で深い学びのためにプロジェクト保育を実践しているが、継続して実施する中で保育士各々に迷いが見られた。課題として日々学び、互いに質の高い、良い方向へ導くチーム作り、関係性（信頼感・安心感・自尊感情・他者承認）を大切に、園児へのより質の高い援助力を園全体で盛上げ、努め日々研鑽をしていきたい。		

事業計画（今年度の重点目標）

項 目	内 容
健全な職場環境の確立	ワークライフバランスを意識した職場環境づくりに努めると共に、セクハラ、パワハラのない職場づくりの推進 個々の業務内容を月1回の会議にて把握し1日1時間の事務時間を有効に使えるよう計画する（年12回）
自己決定の選択の尊重	子どもや高齢者・障害者にとって選択できる環境や選択肢が提示されるなど「自己決定」が尊重される仕組みや環境づくりの実践及び検証・報告 日々の活動の記録を検証し月1回自ら振り返りを行うとともに職員間で意見を交わしながら、検証・改善を行う（年12回）
保護者のニーズの把握・理解	保護者や家族の声を聞き満足度を把握し、職員参加の下、保育・介護・障害福祉サービス改善の取り組みを推進 直接見てもらう機会を作り発信していく（年2回）日々のコミュニケーションを持ち、相談にすぐに対応していく（その都度）